

第 6 回 (5/21) 流行の成立とその特質 ——発生と消滅

1. BBS 投稿から

「流行品を着用することによって社会的集団やある程度な階級に属しているという安心感は得られると思う。他の人も着ているから自分だけおかしいと他人に思われることもないし変に目立つこともない。ただ、それは場所や時間によって変わってくる。人は周りにほとんど影響されているんだと感じた。」

「流行品は市場において一定期間の間、流通したあとに明確な理由もなく消滅し、同じような種類の別の対象によって代替される事物であるということを知った。私は誰かが流行品を世の中に発信し、それがいずれ流行品となって人気がなくなった途端に自然消滅するのだと思っていたが、講義を受けて考えが覆った。」

「使用価値とは、どのような役に立つか、どの程度役立つかということを知った。例えば、身近な物である洗濯機で考えると。人間の手で洋服を洗わなくて済むので機械に洗剤を入れてスタートボタンを押せば、洗濯をしている間でも他のことをやっても自動で洗ってくれるのでとても助かる。」

「使用価値を重視するよりもシンボル価値を重視している人が多いと思う。私も普段の生活を振り返ってみると、使用価値よりもシンボル価値を取っていると思う。」

過去の投稿から

「この授業の前の日の夜に、家族と話していた事がありました。今現在の携帯は、iPhone や Android といったスマートフォンが多いです。iPhone に関しては、次々に新しいバージョンが出ていて、どこが変わったのか進化したのかが非常に分かりにくいと言うことについて話をしていました。人々は iPhone の新しいバージョンが出るとそれを買おうとする。なぜ、人間は新しいものが発売されたら欲しがるのか不思議だという話もしていました。」

「ほとんどの消費財がシンボリック要素によって需要をアピールというものがありませんが、シンボル価値に重きをおくことは無意識に自分や周りで起きているなと気づきました。例えば服の使用価値を重視したらジャージに運動靴で十分に思えます。それをしていないということは少しでもこう見せたい（またはこうは見られたくないから）、という思いがどこかにあるからなのかなと思いました。」

「没個性」問題

「古いと言う考え方がファッションを考える時でも必ず皆が必ずあると思うし、街で見てもみんなおなじような服を着てるから没个性的だとおもう。」

「流行は誰かが意図を持って流行らそうとしていることが多いが、結果的に流行らなかったり、思わぬ方向で流行する場合がある。たとえ情報源が操作されていても、自分自身の好悪までは操作されないため、私は情報源が同じだとしても個性的だと言えと思う。」

「…生まれたままの個人は、没个性的かという問いについては、やはり私は生まれたままの存在でも唯一無二のものがあると思うので個性だと考えた。」

授業運営について

「早口で語尾が聞き取りづらい時があるのでゆっくり話していただけるとありがたいです。」

「話すスピードが早くて聞き取れない時があるのでもう少しゆっくり話してほしい。」

「…聞いた事をメモしたいので、もう少しゆっくり話して貰えると嬉しいです。」

「もう少しゆっくり話してくれるとありがたいです。追いつけない時があります！」

「話が飛び飛びになるのでどこの話をしているのかわからなくなる時があります。」

「話の途中で「ねねねねね」と話が変わるからなんの話をしているのかよく分からない。」

「…プリントの記入スペースをもう少し広くしてほしいです。」

「もう少しプリントに書くスペースが欲しいです。」

「プリントの記入欄をもう少し大きくするか、書く量が多いので穴埋めにしてけると助かります。」

「スライドのスピードを遅くするか、プリント記入欄を広くするかしてほしいです。(どこにどのように書くか迷っている間に進んでしまうので)」

「先生の話に興味をひかれるのですが、周囲が騒がしくて集中しづらいように思います。」

「講義の内容はとても興味深く、面白いです。」

「先生の授業で考えさせることがたくさんあり楽しいです。」

「今まで身近にあったが当たり前のようにあると思いきやよく考えたことなかった流行について、社会的な観点から学べて理解が深まり、授業以外の日常生活でも関心を持つようになった。」

「流行論の授業を聞いていると普段どれだけ自分が無意識に流行を気にしているかわかった。また、部屋を掃除しているときに流行品を自分の気づかない内に買っていることことに気がついた。流行品はその時代を表すものなので流行品=シンボルというのはとても納得できた。」

「流行を論理的に学ぶと、これまでどのように時代が進んできたかを知ることができるような気がして楽しいです。」

「自分の興味がある分野なので毎回楽しみに受けています。人間が流行にのってしまふ心理的な面もあり、消費者行動などの経済的な面からもとらえることができ、先生は難しい授業だとおっしゃっていましたが大学らしい授業だと思います。勉強になります。」

「難しい言葉が出てきた時に自分達で調べる時間をとってくれて、さらにその言葉を簡単に説明してくれてとても分かりやすいです。」

「…ファッションや流行について例、画像を挙げて説明されているので理解しやすいです。関連づけて理解できます。」

「先生の授業は、例え話や仮の話をしてくれるので難しい言葉もわかりやすく理解出来て楽しく学べます、有難いです。」

「説明するとき資料を使っていてわかりやすいのと問いかけの質問が多く眠くなりにくくて楽しいです。」

「みんなの意見を聞くことで、意見の共有ができるので、学びが広がって、いいと感じた。」

「BBS は皆んなの意見を共有できるから良いと思います。」

「BBS 投稿で自分と似た意見、全く違う意見を知れるのも自分の視野を広げられ楽しく感じる。」

「授業内でランダムに指名したりするので眠くならないし、BBS などでは他の人の意見を見れるので自分とは違う意見が見れたりして理解が深まりやすい。あまり理解できなかったことでも他の人の意見で理解できたりするから BBS はいいなと思った。」

「プリントで前回の周りの意見がわかるのがとても参考になります。自分では考えつかなかったような意見も取り入れられているのでさらに理解を深めることができていると感じます。」

「BBS に載っている自分では築かない様々な考えや見方を知る事が出来るためこれからも様々な意見をレジュメに載せて欲しいです。」

「承認への欲求から好きな人の好みになろうとしてしまうような、集団ではなく個人に対する自己同一化は、流行では無くどんな言葉になるのだろうか気になる。」

「イメージが意味と学んだけれど、イメージは人によって様々だから意味がたくさんになってしまうのではないかと考えて、よくわかんなくなりました」

過去の投稿から

「私はこれまでの授業を通して、流行は気にしたことがないし、流行に乗らなくて困らない。と思っていましたが、自分が気づかないだけで、自然と流行を取り入れているんだなあとと思いました。」

「これまでの講義を通して。私は自分自身が流行に左右されるのは、流行の最先端を取り入れている自分のための自己満足でしかないと考えていた。しかし講義を受けるにつれ、そのような考え方が私だけではないことも知り、同じような考えが集まることにより社会全体がそのような考えに流されていることにも気づいた。社会の流れは生きていく上で切っても切り離せない部分であるため、新しい発見があるたびに更に興味が湧きとても楽しい。」

「これまでの講義を通して、本当の意味で物事を理解するには自ら学ぶ姿勢が必要だと気づきました。また、『流行』という抽象的なものにもしっかりと理論があり、考えさせられることも多くありました。」

2. 流行品の意味と機能 (再掲)

流行品 → シンボル

階級や階層、社会的集団（あらゆるタイプの社会的集合）を決定づけるシンボル

- なんらかの社会的集合への帰属を表示
- 承認への欲求
- 承認の記号

3. 外部準拠集団 (再掲)

流行品：自分の所属しない集団（外部準拠集団）に対する個人の自己同一化

cf. 「準拠集団」 (reference group)

個人が同調および比較の基準として、ある範囲の他者の期待をよりどころとする場合、その他者を＜準拠集団＞という

流行現象に対する人びとの動機づけ：

ある集団に帰属する個人は、その集団よりも自己同一化を望む集団になんらかの優越性を感じる

ex. ステイタス、美的・文化的エリート、社会に対する反抗的代替的価値意識…

優越的・魅惑的な集団への帰属欲求（その集団がもつシンボルに対する獲得欲求）

【注意】 流行をめぐる外部準拠集団

× 実際に存在する集団

○ 集合的なイメージのなかだけに存在する観念的・理念的な集団

4. 流行の成立とその特質

流行は他人の目を意識するところに成立する（大衆の権威、匿名の権威）

2つの矛盾した欲求

- 同調への欲求：
- 差別化の欲求：

<特質>

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

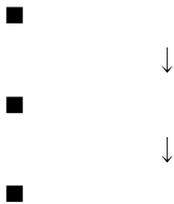
「流行が他人の目を前提にしていることは、それが匿名的な大衆の趣味・思考・行動によって＜集合的に＞定義されているものであることを示している。集合的な定義をよりどころにして、個人は流行をとり入れ、それに従うことで、さらに定義しなおすことによって、流行現象を支え発展させる。流行はたえず新しい人間をそのなかにまきこみながら、大衆の目による定義をたえず再定義してゆくことのなかで展開する。」（藤竹暁、塩原ほか編 1978: 388）

流行は「大衆の参加を通じて作り上げられ、たえず変化していく＜集合的な創造の過程＞」（同）

5. 流行の発生

Q: 帰属あるいは承認のためのシンボルを形成する社会集団は、なぜ別の集団に帰属する諸個人にとって魅力の対象となりうるのか? →A: アイデンティティの問題

流行品は、(その創造主体である) 集団が自らの集団的アイデンティティや集団の内部結束を強化するために形成する相互承認的なシンボルである



現実の集団の場合 ex. 伝統社会における上流階級 →自然的流行

シンボルの要素が境界の外部に漏出するならば、集団のアイデンティティは低減



社会集団は、できるだけ自文化を保護し、外部への漏出を防ぐためにそれを管理しようとする



そのことがもはや不可能となると、集団は、過剰に算出されて価値の下がったシンボルの要素を同じ機能を果たしうる別の要素と交換しようとする

伝統的流行プロセスの衰退

-
-
-

観念的・理念的集団の場合 →人為的流行

- シンボルの外部漏出は必ずしも脅威を引き起こすわけではない
- ゲームとしての性格 (コントロールされることのない強力な普及過程)
- 発生と消滅からなる流行のライフサイクルの加速

6. 流行の消滅

シンボルの可視性の程度

cf. シンボル、流行のバリエーション：

- ① 市場における財（モノ）、② 態度や行動、③ ライフスタイル

可視的なシンボル → 集団外部へと急速に普及、その価値は低下

7. 参考文献

土屋淳二編、2005、『イタリアン・ファッションの現在』学文社、第 10 章

塩原勉ほか編、1978、『社会学の基礎知識』有斐閣、p.320, 388

S.ヴェブレン、高哲男訳、1998、『有閑階級の理論』ちくま学芸文庫

R.バルト、佐藤信夫訳、1972、『モードの体系：その言語表現による記号学的分析』みすず書房

R.バルト、宇波彰訳、1980、『物の体系：記号の消費』法政大学出版局

R.マートン、森東吾ほか訳、1961、『社会理論と社会構造』みすず書房

8. 次回の予告

5 月 28 日 流行現象と集合行動

以上

【授業 HP】 <http://t-enomoto.la.coocan.jp/komajo/>

【BBS】 <http://9113.teacup.com/tenomoto3/bbs>

流行の成立：2つの矛盾した欲求

同調への欲求：

- 他人と同じ世界を共有したい

差別化の欲求：

- 他人に先がけたい、一歩先をいきたい
- 他人とまったく同じではイヤだ

流行の特質

流行は…、

- ① 従来の思考と行動の様式に、人びとが<新しい>と知覚する要素が導入され、それが人びとのあいだに広まっていくこと
- ② 現在のこと、最新のことを意味している
- ③ 時代と不可分に結びつく
- ④ 一般的に、ささいなことをめぐって成立する
- ⑤ だが、それが人びとの目には無視することのできない変化として感じられる点が重要
- ⑥ ある種の<価値の変化>をふくんでいる(文化変動を促す一因ともなる)
- ⑦ 流行に従うこと、あるいはそれを無視することは社会的制裁の対象にならない

流行の発生

- 集団成員間でのシンボリック要素の共有
(文化の共有)
- ↓
- 集団の境界(内部と外部)が明確化
- ↓
- 集団のアイデンティティが維持・強化される

伝統的流行プロセスの衰退

- 階級社会の弱体化
 - 豊かな社会（経済力）
 - 情報コミュニケーションの発達
-